

開催日時 令和5年5月24日(水) 17:15~18:25

出席者 野口診療管理部長・赤田第二精神神経科部長・宇津腫瘍内科部長・伊藤第三消化器外科部長・君和田薬剤部長・鈴木看護副部長・細井輸血課長・柴崎総務課長・飯塚外部委員・中村外部委員・伊藤外部委員

1. 【838-01】 当院職員(初期臨床研修医等)に向けた研修用画像(動画等)教材の作成

救急集中治療科 中西 加寿也

内容は審査/確認依頼書のとおり。

結果

承認

2. 【840-01】 集中治療室に入室した急性呼吸窮迫症候群患者が受けているICUケアを調査する国際多施設前向き観察研究

救急集中治療科 林 洋輔

内容は審査/確認依頼書のとおり。

結果

承認

3. 【837-01】 急性骨髄性白血病における予後規定因子となる遺伝子変異の探索

血液腫瘍科 増田 真一

内容は審査/確認依頼書のとおり。

結果(ただし、宇津委員は研究者等であるため、審議の間退席した。)

承認

4. 【特定: 360-07】 小児ホジキンリンパ腫に対するFDG-PET検査による初期治療反応性判定を用いた治療法の効果を確認する第II相試験(HL-14)

小児科 野口 靖

内容は審査/確認依頼書のとおり。

結果(ただし、野口委員長は研究者等であるため、審議の間退席した。)

問題なし。

5. 報告課題【特定: 31-09】 小児リンパ芽球型リンパ腫 stage I/II に対する多施設共同後期第II相臨床試験(LLB-NHL03)

小児科 野口 靖

内容は審査/確認依頼書のとおり。

結果(ただし、野口委員長は研究者等であるため、審議の間退席した。)

問題なし。

6. 報告課題【特定：658】小児の複数回再発・難治 ALL に対する少量シタラビンとブリナツモマブによる寛解導入療法の第 II 相試験(JPLSG-ALL-R19 BLIN)

小児科 野口 靖

⇒1 件の他施設からの疾病等報告について報告された。

7. 報告課題【特定：663】t(8;21)および inv(16)陽性 AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性に関する臨床第 II 相試験」(JALSG-CBF-AML220)

院長 血液腫瘍科 青墳 信之

⇒1 件の他施設からの疾病等報告について報告された。

8. 報告課題【特定：688】小児、AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 (JPLSG-ALL-T19)

小児科 野口 靖

⇒1 件の他施設からの疾病等報告について報告された。

9. 報告課題【特定：689】小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞型急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法の多施設共同第 III 相臨床試験 (JPLSG-ALL-B19)

小児科 野口 靖

⇒6 件の他施設からの疾病等報告について報告された。

10. 報告課題【特定：720】小児・AYA 世代の限局期成熟 B 細胞性リンパ腫に対するリツキシマブ併用化学療法の有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験 (JPLSG-B-NHL-20)

小児科 野口 靖

⇒1 件の他施設からの疾病等報告について報告された。

11. 報告課題【特定：215】小児ランゲルハンス細胞組織球症 (LCH) に対するリスク別臨床研究 (JPLSG LCH-12)

小児科 野口 靖

⇒総括報告書の概要が公開された。

12. 報告課題【特定：254】小児フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病(Ph+ALL)に対するチロシンキナーゼ阻害剤併用化学療法の第 II 相臨床試験 (ALL-Ph13)

小児科 野口 靖

⇒総括報告書の概要が公開された。

13. 【研究協力機関：839-01】植込み型心臓電気デバイス治療に関する登録調査 New Japan Cardiac Device Treatment egistry2023 [New JCDTR 2023]

循環器内科 橋口 直貴

内容は審査／確認依頼書のとおり。

結果

研究協力機関としての参加に問題なし

14. 【研究協力機関：755-08】新興・再興感染症データベース事業ナショナル・リポジトリ【Repository of Data and Biospecimen of Infectious Disease (REBIND)】の構築

感染症科 馳 亮太

内容は審査／確認依頼書のとおり。

結果

研究協力機関としての参加継続に問題なし

15. 【特定：385-10】初回同種幹細胞移植後のAFO（Air Flow Obstruction）発症患者を対象とした吸入ステロイド/長時間作動型 β_2 刺激剤・クラリスロマイシン・モンテルカスト3剤併用療法による呼吸機能改善効果に係る安全性・有効性検証試験（Chiba AFO-01 study）

院長 血液腫瘍科 青墳 信之

内容は審査／確認依頼書のとおり。

結果（ただし、宇津委員は研究者等であるため、審議の間退席した。）

問題なし。

16. 定期報告書、終了（中止・中断）報告書および研究結果の発表に関する報告書

⇒今回の報告期間に、終了報告書が5件提出されたことが報告された。

以上